豊島区

平成30年度予算案重点事業

わたしらしく、暮らせるまち。

TOSHIMA International City of Arts & Culture
国際アート・カルチャー都市としま

index

30年度予算案の規模と特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・2

30年度新規・拡充事業の規模と特徴・・・・・・・・・・・・・・・・3

２０１８目玉プロジェクト

■共働き子育てしやすい街　NO.１

（１）「待機児童ゼロ」維持とサポートの新展開！・4

（２）小さな公園の新しい活用を提案・・・・・・・・・6

（３）子どもを受動喫煙から守る！・・・・・・・・・・7

■国際アート・カルチャー都市の幕開け

（４）東アジア文化都市開催へ！・・・・・・・・・・・・・・・8

（５）アフター・ザ・シアターで魅力アップ！・・・・・9

（６）公園、広場が街を変える！街を劇場化・・・・・・・10

（７）池袋副都心移動システムの新デザイン・・・・・・・11

（８）マンガ・アニメの聖地から世界へ発信・・・・・・12

重点分野事業

１．持続発展都市に向けた対策の４つの柱

（１）女性にやさしいまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・14

① わたしらしく、暮らせるまち。・・・・・・・・・・・・15

② 出産前からの切れ目ない子育て支援・・・・・・・・・16

③ 待機児童対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

④ 子どもの虐待・貧困対策・・・・・・・・・・・・・・・・・18

（２）高齢になっても元気で住み続けられるまち・・・19

① 「新たな支え合い」による地域共生社会の実現・・20

② 医療・介護サービスの基盤整備・・・・・・・・・21

（３）様々な地域との共生・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

（４）日本の推進力「国際アート・カルチャー都市」・・・22

① 文化戦略 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

② 国際戦略 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

③ 空間戦略 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

２．次世代教育プログラムの展開 ・・・・・・26

３．安全・安心なまちづくり

（１）災害対策の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

（２）セーフコミュニティの推進・・・・・・・・・・・・・・30

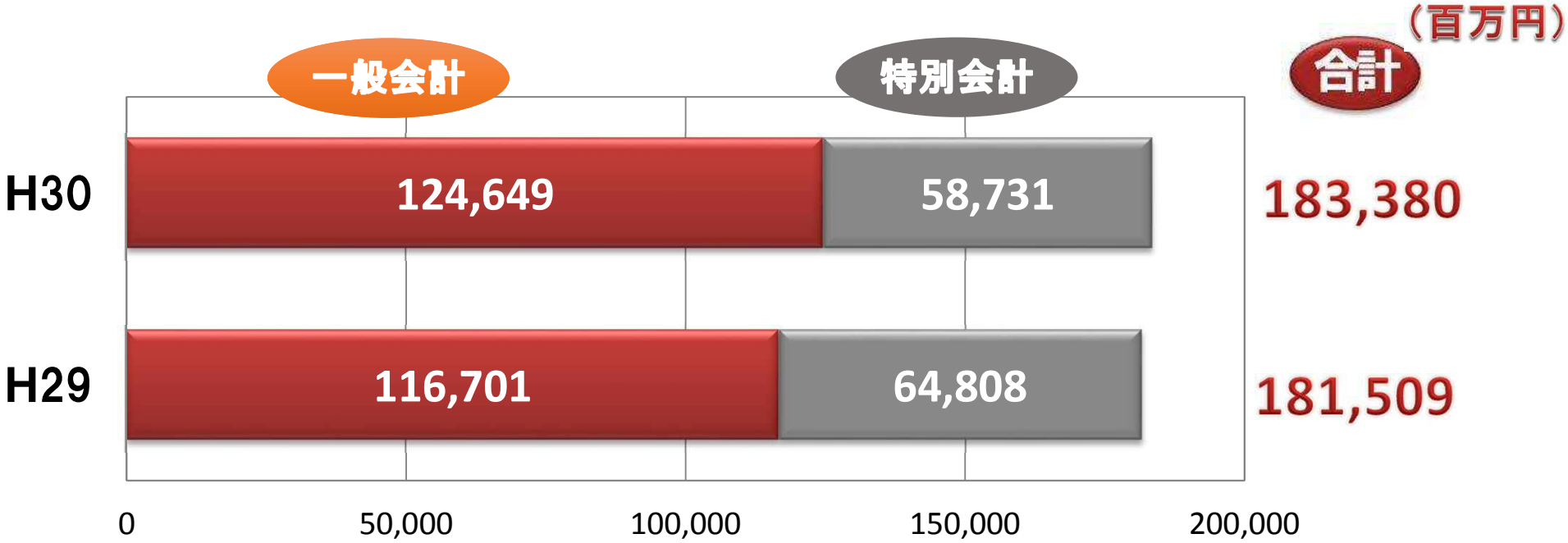
４．その他の特色ある事業・・・・・・・・・・・・32

【参考】公益財団法人 としま未来文化財団事業 ・・・・・・34

３０年度予算案の規模と特徴

一般会計当初予算　1,246億4千9百万円

対前年度比　79億4千8百万円　6.8%増



○一般会計は過去最大の予算規模
　＊持続発展都市の実現に向け、子育て事業や投資事業に積極的に予算配分
○５年連続特別な財源対策（財政調整基金の取り崩し等）をせずに予算を編成
　＊子どもと女性にやさしいまちづくり、文化によるにぎわいを生むまちづくりの成果が、16,000人の納税義務者の増による税収の増に

＊別添「豊島区当初予算（案）」の概要　参照

３０年度新規・拡充事業の規模と特徴

全223事業、約62億1千万円

◎前年度(29年度):227事業、約80億9千万円 （比較18億8千万円減）

◎持続発展都市対策関連　 115事業、40億8千万円(全体の7割)

持続発展都市対策の４つの柱

子どもと女性に やさしいまちづくり	様々な地域との共生 高齢になっても元気で 住み続けられるまち	日本の推進力 （国際アート･カルチャー都市）
58事業 約32億2千万円（新規･拡充）	24事業 約1億円（新規･拡充）	36事業 約14億3千万円（新規･拡充）

＊分野を重複する3事業　6億7千万円を含む

目指す都市像

国際アート･カルチャー都市

－まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市－

待機児童ゼロを維持！認可保育所10園・定員600名増加

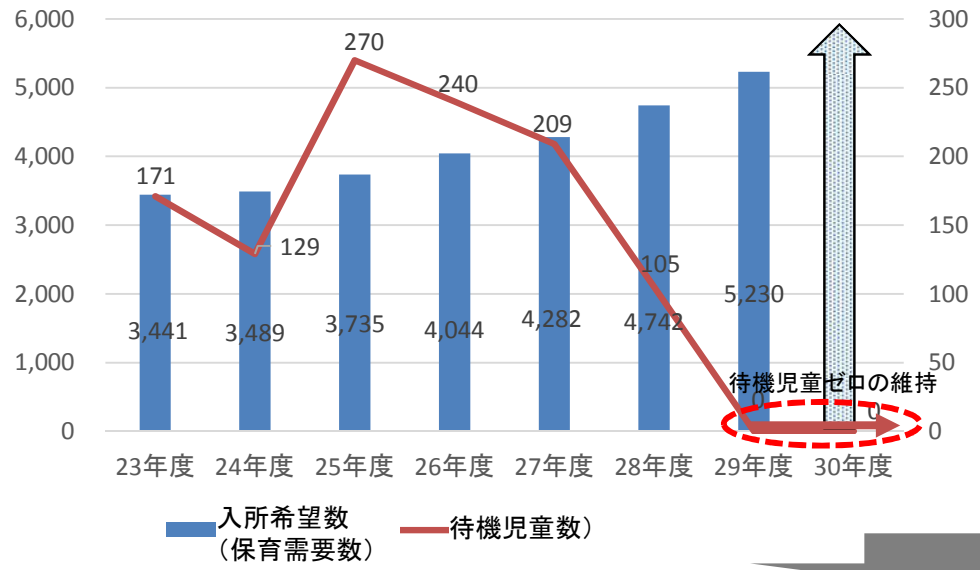
共働き 子育てしやすい街 ランキング 2017 総合編

昨年4月、豊島区は待機児童ゼロを達成しました。また、昨年末、民間調査で「共働き子育てしやすい街」ランキングで全国総合1位を獲得しました。「保育園に入れるか」「子育て・教育費」「学童保育の整備」などへの取り組みが高く評価されグランプリという最高の栄誉につながりました。

待機児童ゼロを維持するために、保育需要の伸びに応じて今後も年間10園のペースで認可保育園を作っていく必要があります。平成30年度は、認可保育所10園、600名の定員増加を図ります。また、ひとりひとりの保育ニーズにきめ細かく対応し、保育所選びや様々な保育サービスの利用を支援する保育コンシェルジュを増員、良質な保育環境確保のための指導を強化しています。

待機児童対策関係18事業　23億272万円　＊各事業概要⇒17ページ

伸びていく保育需要数と待機児童数



平成30年4月開園予定の豊島都税事務所に開園する【グローバルキッズ池袋駅前保育園】

- ●25年度　定員384名増（小規模5園ほか）
- ●26年度　定員407名増（認可2園・小規模7園ほか）
- ●27年度　定員922名増（認可10園・小規模6園）
- ●28年度　定員699名増（認可10園ほか）
- ●29年度　定員723名増（認可13園）

これまでの取り組み

保育需要に応じ、年間10園ペースで増設　ゼロを維持！

［保育の質向上］

○オムツ論争に終止符！保育園（区立・私立）の回収経費を区で負担

自治体初！

区立保育園の紙オムツの処理委託　418万円【新規】 ＊事業概要⇒17ページ
私立保育園・地域型保育事業等施設でのオムツ廃棄回収　875万円【新規】

全国の自治体では、紙オムツを保護者に持ち帰ってもらう公立保育園、私立保育園が多い状況で、豊島区もいくつかの私立保育園を除き、同様の取り扱いを長年行ってきました。
区内の区立・私立保育園及び地域型保育事業すべての認可保育施設に在園する園児の紙オムツを原則として区が責任を持って処分し、保護者の負担を減らします。

○訪問型病児保育利用料金助成の拡大！

23区№1

訪問型病児保育年度限度額の拡充　130万円【拡充】 ＊事業概要⇒17ページ

子どもが病気で保育園に預けられない時、民間の訪問型病児保育を利用しやすくするため、現行の訪問型病児保育の利用料助成を拡充し、1日当たりの限度額を12,000円から20,000円に、1年間の限度額も48,000円から100,000円に引き上げます。これにより、訪問型病児保育の利用料助成の補助水準は、２３区で№１となります。

○乳児の突然死を防ぐ！導入経費を助成

安全対策強化事業補助事業（私立認可保育所・地域型保育事業・認証保育所）　**9,100万円【新規】** ＊事業概要⇒17ページ

乳児の突然死を科学的に防ぐため、監視モニターやベビーセンサー等の設備や機器の導入経費を助成し、導入を促進することで保育従事職員が行う午睡チェックを補強します。
（1施設100万円を上限）

ベビーベッドのマットの下にパッドを敷き、乳児に一定時間動きがないと、ベッド脇に取り付けたセンサーが光りアラームで知らせる。

小さな公園活用プロジェクト・新スタイル提案！

小規模公園活用プロジェクト【新規】 360万円　＊事業概要⇒15ページ

地域の小規模な公園は、子どもの遊び場、憩いの場、にぎわい創出の場など、ファミリー・子育て世代をはじめ、地域には欠かせない空間です。地域に点在する公園が十分に活用されていないケース等を踏まえ、新たな地域コミュニティの場として活用するプロジェクトをスタートします。23区で一人当たりの公園面積が一番小さい豊島区が、23区で最も新しい公園活用を提案します！

※対象公園等は
今後の検討

○トイレアート・ プロジェクト

区内の公園等のトイレ133か所のうち85か所を31年度まで改修します！

この改修にあわせトイレの外観や内観のデザインを、地域で活躍する若手アーティストが園児と共同で行うなど、トイレアートを展開しています。

1月30日に完成したアートトイレ1号【池袋公園】

江戸情緒あふれ、巣鴨の街並みにあったトイレを新設
4月上旬オープン予定
【中山道待夢のトイレ】
＊参考掲載

アートトイレ２号
【南長崎公園】
只今制作中！

[関連事業]

公園トイレ等改修事業【新規】 3億5,100万円　＊事業概要⇒15ページ

子どもを受動喫煙から守る！すべての公園を全面禁煙化

現在、区内には合計165か所の公園等があります。（内訳：公園86、児童遊園66、区民の森2、目白庭園、広場等10）
このうち、99か所（公園23、児童遊園66、広場等10）はすでに全面禁煙となっていますが、残りの公園など66か所は喫煙が可能な状態となっています。
公園は、区内の園庭のない私立保育園の園児などの地域の子どもたちの遊び場や自然に触れる貴重な空間となっています。
子どもと女性にやさしいまちづくりを進め、子どもを受動喫煙から守るためにも、平成30年10月1日から、公園等の全面禁煙化を実施します。

■禁煙化する公園等
66か所　内訳：公園（63か所）、区民の森（2か所）、目白庭園
■実施予定日
平成30年10月1日
ただし、一部の公園（7か所）については、段階的に禁煙化を行う。
対象公園：池袋西口公園、池袋駅前公園、池袋ふれあい公園、駒込公園、
上池袋くすのき公園、日出町公園、東池袋中央公園　（7か所）
■スケジュール
パブリックコメント実施後、平成30年第1回定例会に関係条例の改正案を提案。

○子どものための禁煙外来治療費を助成！

子どものための禁煙外来治療費助成事業【新規】 133万円　＊事業概要⇒15ページ

胎児を含む子どもを受動喫煙による健康被害から守るために、妊婦本人及び妊婦と18歳未満の子どもの同居喫煙者等で禁煙意思のある区民が禁煙外来を受診し、治療完了した場合に助成を行い、禁煙を支援します。
（一定額支給　2万円）

東アジア文化都市開催へ！国際舞台への足固め

東アジア文化都市推進事業【拡充】１億3,100万円　＊事業概要⇒24ページ

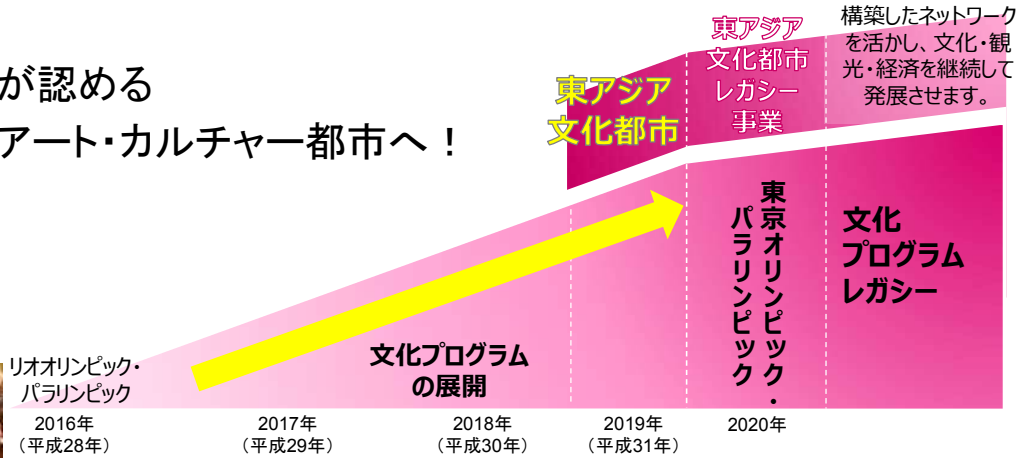
豊島区は2019年「東アジア文化都市」の国内候補都市に決定しました。 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を目前に控え、世界が東京に注目し、機運が高まっているこの年に、東京発の文化を豊島区からプロモートし、翌年の「文化の祭典」へとつなげていきます。30年春に事業コンセプトや概要をまとめた基本計画の発表、ロゴの作成やプレイベントを行い、年明けのオープニングへとつなげます。

©手塚プロダクション

池袋ハロウィンコスプレフェス2015

としま能の会　撮影:青木信二

世界が認める
国際アート・カルチャー都市へ！



F/T17『Toky Toki Saru』
Photo:Takashi Fujikawa (Alloposidae)

F/T15『フェスティバルFUKUSHIMA!@池袋西口公園』
Photo:Ryosuke Kikuchi

“オールとしま”体制の構築
庁内では東アジア文化都市事業をサポートする
若手職員を募集！将来の担い手を育成

豊島区の文化資源である「マンガ・アニメ」「舞台芸術」「祭事・芸能」を柱とした各種事業を展開し、３か国との文化交流を行います。

２０１４年	２０１５年	２０１６年	２０１７年	２０１８年	２０１９年
東アジア文化都市 2014横浜	東アジア文化都市 2015新潟市	東アジア文化都市 奈良	東アジア文化都市 2017 京都	KANAZAWOW! 東アジア文化都市 2018金沢	豊島区

「東アジア文化都市」・・・日中韓3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を毎年各国1都市選定し、現代の芸術文化から伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベントを展開する国家プロジェクトです。

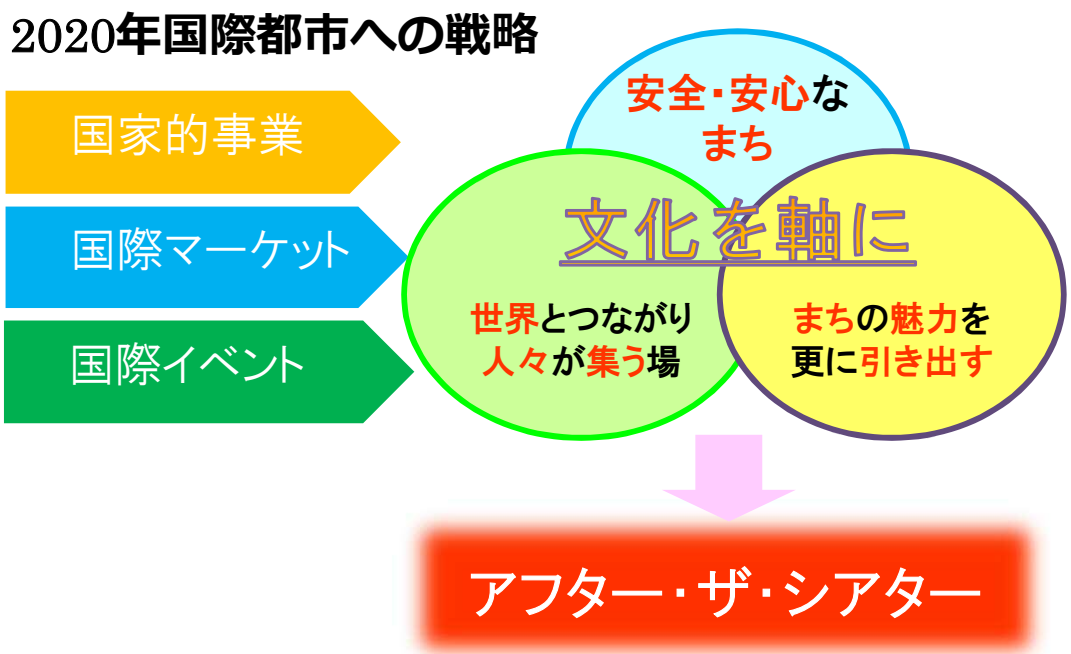
アフター・ザ・シアターでまちの魅力アップ！

豊島区アフター･ザ･シアターの検討事業【新規】 50万円　　＊事業概要⇒24ページ

2019年の東アジア文化都市の開催、そして翌年の2020年東京オリンピック・パラリンピックの文化の祭典の開催に向け、国際都市東京の一翼を担う自治体として、WHOが推奨する安全・安心のまちづくりの国際認証「セーフコミュニティ」を都内で一番に得た強みを生かしながら、国際舞台としてふさわしい都市・豊島区ならではの「安全・安心に観劇・鑑賞後の余韻を楽しめる場」（アフター・ザ・シアター）を実現します。「豊島区アフター・ザ・シアター懇談会」には、観光庁や昨今注目を集めているナイトタイムエコノミーに精通した各分野の専門家などが名を連ねており、今年度は2回開催、平成30年度はこの取り組みの検討をさらに深めてまいります。

安全・安心に観劇・鑑賞後の余韻を楽しめる場の実現を提案

自由学園明日館でスタートした「アフター・ザ・シアター懇談会」。まさに観劇・鑑賞後の余韻を楽しむような雰囲気を演出する。



公園が、広場が街を変える！誰もが主役の「劇場都市」へ

○池袋西口公園－池袋西口エリアの新たな顔に－

池袋西口公園整備事業【新規】　3億800万円　＊各事業概要⇒25ページ

文化芸術を発信する劇場公園として2019年秋にオープン。
地元イベントからフルオーケストラまで多様な催しに対応できる機能を備え、日常は憩いの場として、災害時は一時待機場所として活用します。
東京芸術劇場とも連携した劇場空間が生まれます。

■整備スケジュール
平成29年12月　基本計画策定
平成30年　8月　基本設計・実施設計終了
平成31年　1月～10月　池袋西口公園整備工事　完了

■概算工事費
約26.8億円

○中池袋公園
－庁舎跡地周辺の賑わい拠点－

アニメの聖地を世界に発信する拠点として2019年秋にオープン
■整備工事　平成30年10月～31年8月
■概算工事費　3.7億円

○（仮称）造幣局地区防災公園
－新たな防災拠点－

▲防災公園側から見た東京国際大学

防災機能を備えた区内最大の公園が2020年春にオープン
■整備工事　平成３１年４月～３２年３月
■概算工事費　12.9億円

○大塚駅北口駅前広場の再整備

▲現在の大塚駅北口駅前広場

駅前広場の空間デザイン、照明、大塚駅北口を象徴するシンボル等のコンセプトや基本方針を定めた基本計画に基づき設計に着手します。

公園の整備事業【継続】

大塚駅周辺整備事業【継続】

池袋副都心内を回遊する電気バス　2019年運行開始!

街が変わる！水戸岡鋭治氏によるトータルデザイン

池袋副都心移動システム推進事業【新規】　2億8,400万円　＊各事業概要⇒25ページ

池袋副都心内などを、安全・快適に移動できる、環境に優しい電気バスを導入します。東アジア文化都市の開催にあわせ、2019年に運行を開始します。ドーンデザイン研究所代表の水戸岡鋭治氏による車両デザインのほか、バス停などの関連施設やチケット、制服などのデザイン、運行ルートなど、総合的なプロデュースを行います。

H29 コンセプト 基本デザイン → H30 運行計画、デザイン実施設計、車両購入等 → H31 運行開始

マンガの聖地としまミュージアム　2020年3月オープン！

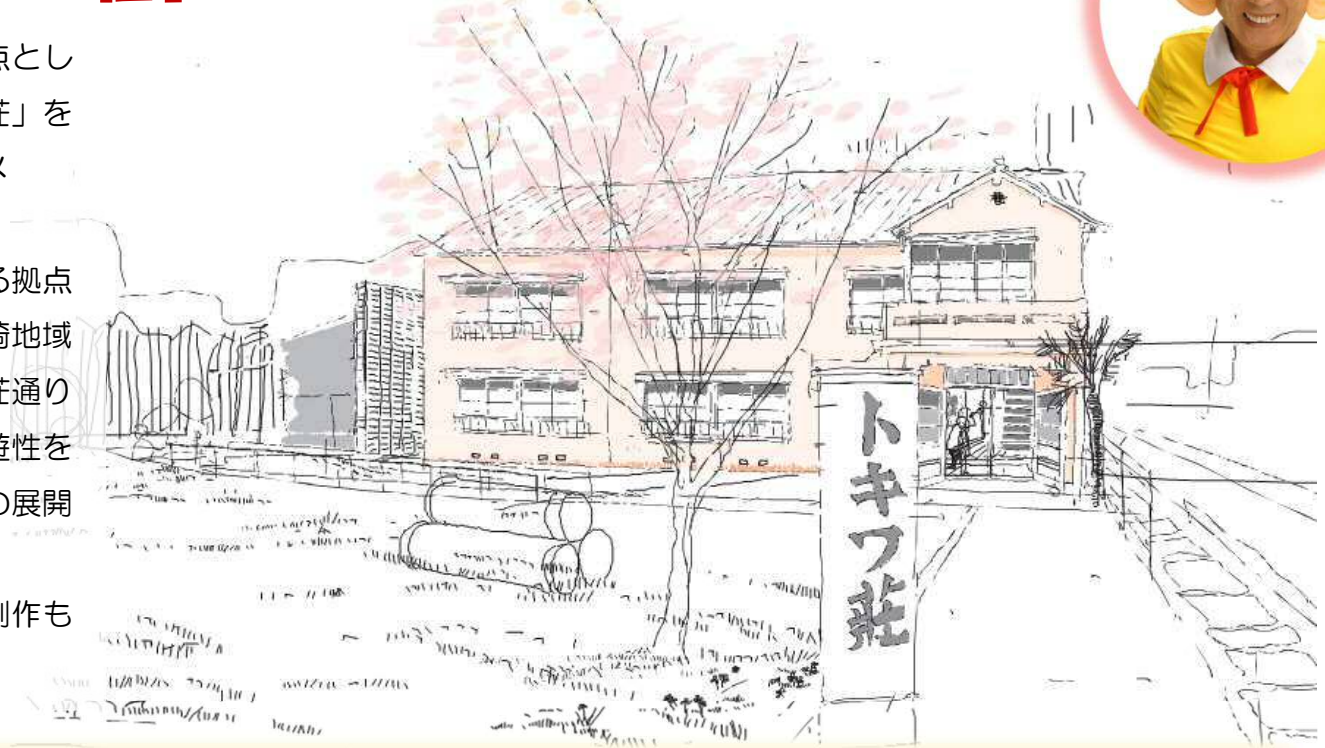
（仮称）マンガの聖地としまミュージアム整備事業【継続】　＊事業概要⇒23ページ

マンガの原点「トキワ荘」がよみがえる

「マンガの聖地としま」の発信拠点として区立南長崎花咲公園内に「トキワ荘」を復元し、2020年春にマンガ・アニメミュージアムとしてオープンします。

マンガ文化を世界に向けて発信する拠点施設として、トキワ荘のあった南長崎地域に整備することで、既存の「トキワ荘通りお休み処」やモニュメント等との回遊性を向上させ、南長崎マンガランド事業の展開をさらに進めていきます。

今秋より建築工事に着手し、展示制作も開始します！



撮影：向さすけ

「トキワ荘関連施設整備基金」寄付金募集　2月中旬スタート！

この施設が多くの方に愛され、訪れて頂けるよう、トキワ荘そして日本のマンガ文化を愛してくださる皆様にご参加いただきながら、「トキワ荘関連施設整備基金」創設します。

マンガ文化に関する資料を収集・保存し、日本のマンガ文化を次の世代に継承していきます。

池袋ＰＲアニメで「アニメの聖地・池袋」を世界に発信

マンガ･アニメ等を活用した観光事業【拡充】 2,000万円　＊事業概要⇒23ページ

アニメイトと共同で池袋をPR

800点を超えるキャラクター応募

池袋PRアニメ2019年公開

池袋を舞台とするＰＲアニメを㈱アニメイトと共同制作します。

公民連携で「アニメの聖地池袋」を世界に発信。制作に先駆け、登場するキャラクターを公募した『池袋アニメ「ふくろう」擬人化キャラクターデザインコンテスト』では、800点を超える応募がありました。3月に最優秀賞・優秀賞が決定。

どんなキャラクターデザインが選ばれるのか、どんなＰＲアニメに仕上がるのか、2019年の公開をご期待ください！

TOSHIMA International City of Arts & Culture 国際アート・カルチャー都市としま × animate

秋のサブカルイベント「オータムカルチャーフェスティバル」などと合わせ、豊島区が持つ他の都市にない大きな強みや特徴として、マンガとアニメを位置づけ、国際アートカルチャー都市文化戦略として推進していきます。

多くのコスプレファンが訪れる「池袋ハロウィンコスプレフェス」

東京アニメアワードフェスティバル2018
3月9日～12日開催！！

今、池袋は、アニメ・コスプレなどサブカルチャーの発信地としての認識が高まるにつれ、世界各国の高いクオリティとオリジナルティに富むアニメーションが集まる映画祭「東京アニメアワードフェスティバル」や、アニメなどの映像コンテンツの国際的な見本市である「ジャパン・コンテンツ・ショーケース」など、国内外に発信するイベントが池袋に集中しつつあります。

©TAAFEC. All Rights Reserved.

わたしらしく、暮らせるまち。

としま Scope スコープ

ＨＰ：http://toshima-scope.city/
ＦＢ：@toshimascope

わたしらしく、暮らせるまち。

「女性にやさしいまちづくり」とは、ひとりひとりの多様なライフスタイルを大切にすることを基本コンセプトに、女性に視点をあわせてまちを見渡すことで、子どもや高齢者、外国人などすべての人が住みやすく、働きやすい、誰もが自分らしく暮らせるまちを目指すものです。

民間や関係機関などとの連携・協働を深めながら、女性や子育て世代、働く世代のニーズや意見を広く、きめ細やかに取り入れ、子育て、住まい・くらし、働く、学ぶ、健康など、様々な分野での施策・事業を展開していきます。

子育て世代が集う場所

過ごしやすく快適な
公園を目指して・・

公園トイレの改修
小規模公園の活用
公園の全面禁煙化

みんなにやさしいまちに

女性にやさしいまちづくり推進事業【拡充】 1,737万円

project としまぐらし会議

区民・企業・大学・行政などからなる「としまぐらし会議」を開催し、それぞれが主体的に私らしい暮らしを実現するためのプロジェクトをチームごとに策定しました。今後、プロジェクト実現に向け、公民連携して取り組んでいきます。

栗原論©

“未来の豊島を、みんなでつくる、作戦カイギ。”として開催された「としまぐらし会議」。
メンバーは10～60歳代の幅広い年齢層、様々な立場の方々で構成されました。

project FFパートナーシップ協定

※ＦＦとは、Female/Family Friendly（女性/ファミリーにやさしい）の略

女性や子育て世代、働く世代を対象に、区・民間事業者それぞれの強みを活かしたノウハウやリソースを活用し、様々な分野において連携していきます。

おはなでいっぱいのまちをつくろう！
franco tadeo inada ©

店舗内優先エレベーターの共同企画

◆協定締結企業（※締結順）
(株)そごう・西武　西武池袋本店
(株)東武百貨店池袋本店
(株)サンシャインシティ
(株)ルミネ池袋店
(株)良品計画

① わたしらしく、暮らせるまち。

9事業
4億1,245万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
女性にやさしいまちづくり推進事業	拡充	17,369	「わたしらしく、暮らせるまち。」をテーマに女性にやさしいまちづくりを推進するとともに、民間と連携して豊島区ならではの女性・子育て世代向け施策を積極的に展開し、その情報を発信します。	女性にやさしいまちづくり担当課長
小規模公園活用プロジェクト	新規	3,600	小規模公園についての利用状況調査を行い、活用アイディアなどをワークショップにて検討していきます。平成29年度には、株式会社良品計画とＦＦパートナーシップ協定を結び区内に点在する中・小規模公園の活用方法のひとつとして、東池袋地域周辺の公園を地域コミュニティの場として活用するプロジェクトを12月よりパイロット的に開始しました。	
公園トイレ等改修事業	新規	351,100	公園等にあるトイレ133か所のうち、建替え及び改修を要する約85か所を平成29年度から31年度までの3か年で改修していきます。改修にあたっては、アーティストによるラッピング装飾や保育園児が参加するワークショップなど様々な手法でトイレアートも展開します。	女性にやさしいまちづくり担当課長 公園緑地課
子どものための禁煙外来治療費助成事業（がん対策推進事業経費）	新規	1,330	胎児を含む子どもを受動喫煙による健康被害から守るために、妊婦本人及び妊婦と18歳未満の子どもの同居喫煙者等で禁煙意思のある区民が禁煙外来を受診し、治療完了した場合に助成を行い、禁煙を支援します。禁煙外来を行う医療機関を紹介する禁煙外来マップや掲示用ステッカー・事業ＰＲ用チラシを作成し配布することで幅広く事業をＰＲしていきます。	地域保健課
国際競争力強化推進事業	拡充	11,500	再開発の機運が高まる池袋駅周辺地域を、国際競争力を有するまちとすべく、平成29年に「池袋ブランディング戦略」を策定しています。このシティ戦略の実現を目指し、様々な企業や団体との連携を強化するとともに、シンポジウム等で池袋が「ビジネス活動に適したエリア」として生まれ変わりつつあることを、国内外にＰＲしていきます。	企画課
女性起業家への支援事業～サクラーヌbiz応援プロジェクト～	拡充	600	豊島区で起業したい女性や、事業を経営している女性を重点的にサポートします。30年度は女性起業家のネットワークの構築や女性限定の大規模な交流会を実施します。	生活産業課
創業支援施設開設補助事業	新規	20,000	起業を望む方へのチャレンジの場を提供するため、創業支援施設を新たに開設・運営する団体等に対して施設整備や運営費の一部を補助します。	
リノベーションまちづくり事業	拡充	4,264	空き家等の遊休不動産をリノベーションの手法を用いて活用することで、都市・地域経営課題を解決し、住んで働いて暮らせる持続可能なまちを実現するとともに、空き家所有者や相続予定者を対象とした啓発活動をしていきます。	マンション担当課長
雑司が谷地域文化創造館　女性個室トイレ洋式化	拡充	2,688	雑司が谷地域文化創造館フロアの女性トイレ３基を洋式化し、利用しやすい環境を整備します。	学習・スポーツ課

② 出産前からの切れ目ない子育て支援

１３事業
7，772万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
産後ケア事業	新規	9,099	家族等から家事や育児などの援助が受けられない産後4か月未満の母子に対して、助産院等への宿泊による心身のケアや育児の支援を行います。	健康推進課
ロタウイルスワクチン接種助成事業	新規	19,034	乳幼児が感染すると重症化や集団感染のリスクが高いロタウイルス感染症を予防するため、平成30年4月以降に出生した生後6週から32週までの乳児に対し、ワクチン接種費用の一部助成を行います。	
豊島区特定不妊治療費助成事業	拡充	10,000	不妊に悩む夫婦が安心して治療を受け、豊島区で子どもを産み育てることができるよう支援するため、特定不妊治療費助成事業を実施します。29年4月1日以降に治療が終了し「東京都特定不妊治療費助成事業」で承認を受けてから1年以内の申請に対して、治療ステージにより治療1回あたり5万円もしくは2万5千円を上限として助成します。	
歯科衛生事業	拡充	2,333	区内保育園のうち希望した保育園で歯科保健指導を行い園児の歯みがき習慣の獲得を促します。保育園数の増加に伴い事業の一部を専門的ノウハウのある事業者に委託します。	
子ども若者総合相談事業	新規	12,165	ひきこもり、ニート、非行など、子ども・若者に関する幅広い悩みに対し、総合相談窓口を子ども課に新設し、支援していきます。また、様々な課題を持つ子ども・若者をなるべく早期に発見し、孤立させないために子ども若者支援ワーカー2名を配置します。	子ども課
青少年自殺予防対策事業	新規	804	中高生センタージャンプにおいて、青少年の様々な悩みをキャッチしやすいプログラムを新たに始めます。また、ゲートキーパー（身近な人の自殺のサインに気づき、専門機関等につなぐ人）養成講座を開催し、若年層の自殺の予防に努めます。	
中高生センター日曜開館事業（管理運営経費）	拡充	4,489	中高生センタージャンプ長崎について、平成30年7月より日曜開館を実施します。平日利用できない中高生の利用を拡大し、中高生の居場所機能を拡充します。	
区立幼稚園における預かり保育の充実	拡充	1,093	区立幼稚園の預かり保育を長期休業期間中（春・夏・冬休み）は午前9時～午後5時まで拡大して実施します。	学務課
特別な支援を要する子どもに対する教育の充実（学校看護師）	拡充	508	特別な支援を必要とする児童に医療的ケアを実施するため、小学校に配置する看護師を増員します。	
巡回子育て発達相談事業	拡充	3,522	発達に課題を抱える子どもの支援を行う職員を対象に指導や専門的なアドバイスを行う非常勤の心理職職員を導入することで、質の高い支援を目指します。	子育て支援課
発達支援事業	拡充	5,758	心理職（非常勤）、言語聴覚士、作業療法士による発達専門相談（出張相談を含む）を拡充実施し、気軽に相談できる体制を整備します。	
一時預かり事業（幼稚園型）	拡充	4,335	子ども・子育て支援新制度による「一時預かり事業（幼稚園型）」の実施を受託した園に対し、補助金を助成します。	
私立幼稚園就園奨励事業	拡充	4,582	私立幼稚園（子ども・子育て支援新制度移行園を除く）に通園する園児の保護者を対象に、所得状況に応じて、経済的負担を軽減するとともに、公・私立幼稚園間の保護者負担格差の是正を図るため補助金を交付します。	

③ 待機児童対策

18事業
23億272万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
区立保育園の紙オムツの処理委託	新規	4,179	区立保育園で発生する紙オムツの回収処理委託を行い、衛生面と保育サービスを向上させます。	保育課
私立保育園・地域型保育事業等施設でのおむつ廃棄回収（私立保育所に対する保育委託及び助成経費）	新規	8,751	日本で初めて区（自治体）が私立保育園・地域型保育事業施設で発生する紙オムツの回収処理委託を行い、衛生面と保育サービスを向上させます。	保育政策担当課長
私立保育所に対する保育委託及び助成事業	拡充	1,484,415	平成30年4月1日以降に新規に開設される私立認可保育所を運営する事業者に対して、運営にかかる経費を支弁します。	
訪問型病児保育年度限度額の拡充	拡充	1,300	訪問型病児保育の利用料助成限度額を拡充（児童一人あたり1日20,000円、年度100,000円）し、安心して保育が受けられる環境を整備します。	
障害児加算の追加（地域型保育給付費等関係経費）	新規	3,647	地域型保育事業に区加算として障害児加算を追加します。地域型保育施設に私立保育園と同等のサービスを持たせ障害児の受け入れ先を拡大します。	
看護師加算の見直し（地域型保育給付費等関係経費）	新規	8,172	地域型保育事業の看護師配置条件を0歳児1名以上に緩和することで該当施設の増加とサービス向上を目指します。	
キャリアアップ補助・保育サービス推進事業	拡充	328,130	保育事業者が行う保育士等の処遇改善に取り組む費用や保育サービスの向上を図る取り組みに要する費用の一部を補助することで、人材確保やサービスの質の充実につなげます。	
安全対策強化事業補助事業（私立認可保育所・地域型保育事業・認証保育所）	新規	91,000	私立の保育施設に対して監視モニターやベビーセンサー等の導入費用を助成（1施設上限100万）することで児童の安全な眠りを確保します。	
保育従事職員宿舎借上支援事業	拡充	131,805	保育従事職員用の宿舎の借り上げを行う保育施設運営事業者に対して、その経費の一部の補助を行います。昨年度設けていた補助制限（採用5年以内、1施設あたり常勤保育従事職員数の1/3の戸数まで）を撤廃しました。保育人材の確保を推進し、保育サービスの継続や充実につなげます。	
利用者支援事業（保育コンシェルジュ）の促進（保育所入所事務経費）	拡充	10,363	保育施設の入所相談などに特化した保育コンシェルジュを3名増員し7名体制で取り組みます。必要に応じて関係機関への案内も円滑に行います。	保育課

その他関連事業…保育従事職員宿舎借り上げ助成事業（認定こども園）（新規・1,722千円・子育て支援課）/臨時職員（保育補助）の処遇改善（拡充・37,092千円・保育課）/区立保育園夏季プール組立委託（新規・1,200千円・保育課）/会計専門員（非常勤）雇用（新規・2,892千円・保育政策担当課長）/旧千早児童館跡地プレハブでの保育事業（子育て支援事業）運営（新規・7,842千円・保育政策担当課長）/AB階層における延長保育料補助（新規・96千円・保育政策担当課長）/居宅訪問型保育事業（拡充・174,354千円・保育政策担当課長）/居宅訪問型保育事業（交通費相当分）（拡充・5,760千円・保育政策担当課長）

【参考】既存関連事業（継続）

私立保育所誘致関係経費（新規開設分）	継続	1,070,830	認可保育所運営事業者に対し、開設準備経費や改修経費の補助を行います。平成30年度は10園の新規開設を見込んでいます。	保育政策担当課長

④ 子どもの虐待・貧困対策

10事業
6,923万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

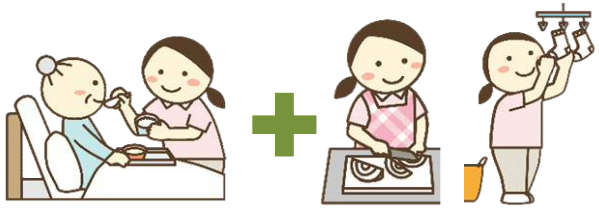
事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
児童相談所設置準備事業（ショートステイ事業）	拡充	24,368	これまでのショートステイ事業に加え、要支援家庭を対象としたショートステイ事業等を拡充し、幅広いニーズに対応することで、子どもの安全と保護者へのきめ細やかな支援を展開します。【拡充分】①乳児院：生後43日～3歳未満②児童養護施設および協力家庭等：3歳～18歳（高校生）また、宿泊を伴わないトワイライトステイ事業は、小学生以上を対象に協力家庭等で実施します。	子育て支援課
児童相談所設置準備事業（人材育成等関係事業）	新規	1,506	児童心理司、児童福祉司、一時保護所等に配置する職員の育成を図るために、心理検査講習会等の様々な研修に参加し、児童相談所の業務に必要な専門的な知識および技術を習得します。	
児童相談所設置準備事業（児童虐待対応力強化事業）	拡充	8,662	平成33年度の児童相談所開設を視野に、非常勤職員の虐待対応協力員2名と弁護士1名を採用します。虐待問題に迅速かつ的確に対応するとともに、司法的対応力を高め、支援体制の強化を図ります。	
児童給付業務等業務委託の業務拡大	拡充	3,494	平成29年度より導入している児童給付業務の業務委託について、現況届等に関する窓口受付やコールセンターなど委託する業務範囲を拡大し効率的な運営を目指します。	
ひとり親家庭等の子どもに対する学習支援事業（ひとり親家庭支援事業）	拡充	8,854	ひとり親世帯等の子どもに、生活面での支援を含む学習支援を行い、学力、社会性、自己肯定感を育みます。平成28年度のモデル実施に引き続き、教室型（定員30人）については中学1～3年生を対象に実施、訪問型（定員10人）については18歳未満の就学者を対象に指導員を派遣します。	
ひとり親家庭支援センター事業	新規	800	「ひとり親家庭支援センター」を設置し、ひとり親家庭の総合窓口として、様々な相談に応じ、支援を提供します。	
子どもの権利委員会関係事業	新規	5,694	「豊島区子どもの権利に関する条例」に基づき子どもの権利委員会を設置し、条例の推進計画を策定します。また、条例の普及啓発のためリーフレット作成や講演会を行います。	子ども課
としま子ども食堂ネットワーク事業	新規	227	としま子ども食堂ネットワークに加入している団体の連携、情報共有のためのネットワーク会議を運営します。子ども食堂の周知リーフレットの作成や運営団体および子ども食堂を始めたいと考えてる団体（人）を対象とした研修会・勉強会を開催し、子ども食堂活動を支援していきます。	
就学援助の入学支度金増額分	拡充	7,906	所得が一定以下の方に支給している就学援助の入学支度金支給額を、生活保護受給者に対する就学援助の入学支度金支給額と同額に増額し、義務教育にかかる保護者の負担を軽減します。	学務課
平成31年度入学予定者の入学支度金の前倒し対応及び入学支度金前倒しに係るシステム改修	拡充	7,723	小学校入学予定者の就学援助について、入学年の3月（現行支給は入学年の7月）に前倒しで支給を行い、入学前の進学準備にかかる保護者の負担を軽減します。	

全国初！　「選択的介護モデル事業」を実施

選択的介護モデル事業【拡充】 1,100万円

選択的介護とは、介護を必要とする高齢者の基本的な生活を支える介護保険サービスと、介護事業者の創意工夫による多様な保険外サービスとを柔軟に組み合わせて提供することにより、要介護高齢者のＱＯＬ（生活の質）向上や事業者のサービス提供効率向上等の効果を目指すものです。団塊世代が75歳を超える2025年に向け、少子高齢社会におけるサービス提供のあり方について検証するため、全国に先駆けてモデル事業を実施します。2018年度は、訪問介護サービスと保険外サービスの組合せについて、有識者会議での議論や区内事業者等との協議を踏まえながら「豊島区モデル」となる適正な運用ルールを定め、介護が必要になっても自分らしく暮らせるまちづくりを推進していきます。

○ 介護保険サービスと保険外サービスを柔軟に組み合わせて提供



- 介護家族の負担軽減
- ヘルパーの業務時間短縮
- 介護サービスの多様化

- 介護離職の抑止
- 介護人材の確保（処遇改善）
- 介護事業者の競争力強化

“新たな支え合い”の仕組みづくりを加速

○コミュニティソーシャルワーカーの配置を拡大

現在、区内8か所の地域区民ひろばにコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置しています。町会や商店会等による独自の見守り活動、民生委員や一般区民の方によるサロン活動など、区民主体の地域支え合い活動が実に120か所も行われており、その多くの活動にＣＳＷが関わっています。地域関係者の力を結集し、さらに地域課題にきめ細かく対応するため、ＣＳＷを段階的に増員し、区内12か所に配置します。 ＣＳＷと町会、民生委員等との連携をより一層強め、本区にふさわしい「地域共生社会」を実現していきます。

コミュニティソーシャルワーク事業【拡充】 1,600万円

① 「新たな支え合い」による地域共生社会の実現

8事業
4,402万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
コミュニティソーシャルワーク事業	拡充	16,004	地域福祉を推進するコーディネーターとして、区内8か所の地域区民ひろばに配置していたコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を段階的に増員し、区内12か所に配置します。地域におけるコミュニティソーシャルワーク機能を一層促進し、区民の誰もが孤立することなく、人とのつながりをもって生活できるよう、「新たな支え合い」の仕組みづくりを推進します。	福祉総務課
選択的介護モデル事業	拡充	11,000	訪問介護サービスと保険外サービスを柔軟に組み合わせて提供することにより、ＱＯＬ（生活の質）やサービス提供効率の向上等の効果をめざしたモデル事業を実施します。有識者会議や区内事業者等との協議を踏まえて現場の声を反映した仕組みを構築し、介護が必要になっても自分らしく暮らせるまちづくりを推進します。	介護保険特命担当課長
もの忘れ相談事業	拡充	119	区内8箇所の高齢者総合相談センターでは、豊島区医師会の「認知症かかりつけ医」が、「高齢者もの忘れ相談」を実施しています。もの忘れ相談と連携する認知症サポート医を増やし、早期診断への取り組みや本人・家族への支援、地域で認知症の在宅ケアを支える取り組みを推進します。	高齢者福祉課
ケアハウス「菊かおる園」運営費助成事業	拡充	5,871	独立した生活に不安を抱える60歳以上の方が入居可能な「ケアハウス菊かおる園」に、運営費助成を拡充し経営の安定化を図ります。	
給付適正化対策事業【介護会計】	拡充	3,606	平成30年度からの居宅介護支援事業所の指定権限が、都より区へ移管されます。介護サービスの質の向上及び給付の適正化を図るため、介護サービス調査員を増員し、ケアプラン点検の強化に取り組みます。	介護保険課
給付適正化対策事業（システム改修）【介護会計】	拡充	1,944	介護保険制度は3年ごとの周期で改正があります。30年度は改正年にあたるため、給付適正化システム更新を行い、適正なサービスを提供します。	
認知症対応型共同生活介護事業所の家賃等助成事業【介護会計】	新規	4,189	指定認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）が要介護者及び要支援2の認定を受けた者を受け入れた場合で、家賃、食材料費及び光熱水費の費用負担が困難な低所得者に対して利用者負担の軽減を行っている事業者に対し、助成を行います。	
認知症介護実践者等養成事業【介護会計】	拡充	1,290	区内に所在する地域密着型サービス事業所等に対し認知症に関する研修を実施します。認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成することで、質の高い認知症支援を普及させます。	

1．持続発展都市に向けた対策の４つの柱　(３)様々な地域との共生

1事業
150万円

地方との共生推進事業	拡充	1,500	29年9月に実施した秩父市への「お試し居住モニターツアー」には23名の方が参加しました。引き続き、区民の方々がより充実した生き方ができるような選択肢としての「地方との共生」を姉妹都市である埼玉県秩父市や友好関係にある市町村と検討していきます。	企画課

②医療・介護サービスの基盤整備

10事業
2,957万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
高齢者補聴器購入費助成事業	新規	2,263	満65歳以上で住民税本人非課税の軽度中等度難聴の高齢者に補聴器購入費の一部を助成します。補聴器を利用することで、日常生活でのより良いコミュニケーションを支援し、積極的な社会参加と地域交流を促し、認知症を予防していきます。	高齢者福祉課
認知症初期集中支援推進事業【介護会計】	拡充	4,501	医療・福祉の専門職による「認知症初期集中支援チーム」が認知症と疑われる人や認知症の人及び家族を訪問し、必要な医療や介護の導入・調整や、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行います。高齢者総合相談センターとも連携し、自立生活をサポートします。平成30年度より区内全域で実施します。	
生活支援体制整備事業【介護会計】	拡充	1,750	平成30年4月から本格実施する予定の総合事業基準緩和サービスに従事する区民等を育成します。育成研修を年3回実施し、区報等で受講者を募集します。平成29年度から3年間で400名育成予定です。	
介護予防による地域づくり推進事業	新規	8,081	高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその方の能力に応じ、自立した日常生活を営むことを可能にするため、住民主体の地域づくりにつながる介護予防活動の推進をする非常勤、地域包括支援センターの地域ケア会議を支援する非常勤を採用します。	
介護予防リーダー養成講座【介護会計】	拡充	609	地域の介護予防に興味がある区民を対象に、介護予防リーダー養成講座と介護予防リーダーフォロー講座のカリキュラムを提供し、地域拠点活動を主体的に展開する「介護予防リーダー」を養成します。	
在宅医療推進関係事業（後方支援病床の確保）	拡充	3,957	区では、区民が安心して在宅医療を受けることができる仕組みづくりと医療連携体制の構築を目的に、多職種による在宅医療連携推進会議（年3回）と5つの専門部会を設置し、取り組みを進めています。30年度は次の取り組みを充実させます。 ① 在宅療養患者の急変時に入院対応等できる「後方支援病床」を、医師会と連携し区内病院等の協力を得て引き続き確保します。急変時に対応できる体制を築くことで、安心して在宅医療ができる体制を整備します。 ② 医師会に委託実施している「在宅医療相談窓口」については、相談件数の増加及びコーディネート機能の拡充に対応できるよう相談員の体制を強化します。 ③ 在宅療養患者への適切な医療介護サービスを提供するため、在宅医療・介護に関わる多職種（医療、介護職）が連携を深めるネットワークの構築を支援します。多職種連携の会の開催やＩＣＴを活用した情報共有を促進し、適切なサービス提供体制を確保します。 ④ 入院医療から地域（在宅）医療への転換が進む中において、区民の方が在宅医療について知識・理解を深められる「区民公開講座」を医師会と連携（委託）して開催します。 ⑤ 医師会との連携により（仮称）リハビリテーション協議会を設置します。リハビリスタッフ間及び他職種との連携を深め、在宅療養の様々な場面において必要な専門性を備えたリハビリスタッフの介入を可能とする環境整備を進めます。	地域保健課
在宅医療連携推進会議・在宅医療相談窓口事業（相談員常勤化）【介護会計】	拡充	2,359		
多職種ネットワーク構築事業（在宅医療推進関係事業経費）	新規	5,400		
在宅医療連携推進会議・在宅医療相談窓口事業（在宅医療推進区民公開講座）【介護会計】	拡充	216		
在宅医療推進関係事業（（仮称）リハビリテーション協議会設置）	拡充	432		

3つの戦略 で 「国際アート・カルチャー都市」へ！

文化戦略

鈴木信太郎記念館が3月28日にオープン

フランス文学者・鈴木信太郎が暮らした旧鈴木家住宅
(区指定有形文化財)を改修・整備し、一般公開します。

池袋PRアニメの原案キャラクターに826点の応募

TOSHIMA International City of Arts & Culture × animate

3月中に最優秀賞＆優秀賞が決定！

国際戦略

ラ・フォル・ジュルネTOKYOが池袋で初開催！

世界最大級の音楽祭が池袋にやってきます。

GW(5月3日～5日)開催！

インバウンド向けマップを増刷！

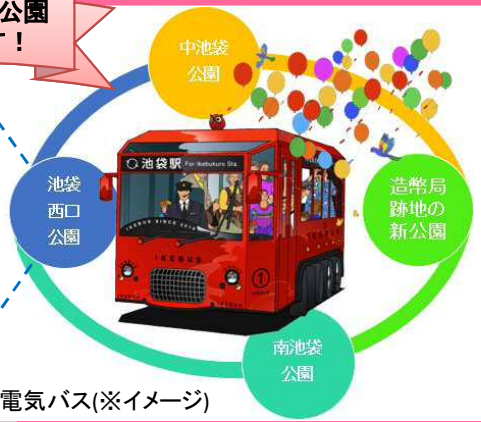
英語版

中国語版
(繁体字)

空間戦略

電気バスが公園を繋ぎます！

池袋西口公園が劇場公園に！



電気バス(※イメージ)

歩行者優先のまちづくり

観光案内標識を整備

① 文化戦略

15事業
1億1,847万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
マンガ・アニメ等を活用した観光事業	拡充	20,000	アニメの聖地・池袋を国内外に広く発信するため、株式会社アニメイトと共同で3分程度のＰＲアニメを制作します。また、アニメに登場するキャラクターは、イラスト投稿サイトpixivにて「池袋アニメ『ふくろう』擬人化キャラクターデザインコンテスト」を開催して公募し、既に826件の応募がありました。今後は、制作実行委員会を立ちあげて最優秀賞・優秀賞を決定し、アニメ制作を進めていきます。	文化観光課
ソメイヨシノプロジェクト推進事業	拡充	7,000	桜による街づくりを進める全国27自治体が加盟する「全国さくらサミット」を、豊島区にて開催します。主催自治体として、サミットの運営と併設イベントを行います。	
国際アート・カルチャー都市推進事業	拡充	24,376	豊島区の目指す「国際アート・カルチャー都市」の実現に向け、文化・芸術に造詣の深い専門家や学識者等で構成する「都市プロデューサー」や「都市懇話会委員」、都市構想に賛同する区民等が参加する「特命大使」の三者を連携させ、さらなる充実を図ります。また都市構想の動きをホームページなど多様な媒体により国内外に発信します。特に「特命大使」は既に1340名以上の賛同を得ていることから、これをもとに「特命大使」の手による自主事業の試行の展開につなげていきます。	国際アート・カルチャー都市推進担当課長
伝統芸能@南池袋公園事業	拡充	20,000	豊島区の新たな人気スポットである南池袋公園にて、薪能・狂言等の伝統芸能を上演します。公園という開かれた場所で行うことで、日本古来の伝統芸能を身近に親しむ機会を提供します。	文化デザイン課
五耀會公演(仮題)	新規	5,510	日本舞踊の舞踊家5人が流派を超えて集う「五耀會」の公演を東京芸術劇場プレイハウスにて開催します。字幕投影を活用し、上質な伝統芸能を誰もが楽しめるよう工夫します。	
チケットセンター整備事業	新規	2,500	2019年の東アジア文化都市や、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催へ向け、文化プログラムの増大が見込まれることから、チケット販売窓口事業を充実させます。現在販売を行っている「としまチケットセンター」の電話回線の増設や顧客管理システムの構築などを行います。	
鈴木信太郎記念館の保存・活用事業	拡充	6,000	フランス文学者の鈴木信太郎が暮らした旧鈴木家住宅を改修・整備し、新たに「鈴木信太郎記念館」として平成30年3月28日より一般公開します。開館を記念して、フランス文学に関する講演会や、区の有形文化財に指定されている貴重な建造物の見学会などを実施します。	
豊島区収蔵作品等３分野企画展事業	新規	5,000	郷土資料館の企画展示室にて、これまでに寄贈された生活資料を中心とした企画展を開催します。小学校3年生の社会科の郷土学習「くらしの移り変わり」に対応した、体験型の展示を行います。	
区民でつくる演奏会　いっぽ・イッポ・み・ら・い・へ14（仮）	拡充	2,300	スイス・ジュネーブの「le motet(ル・モテ)合唱団」を豊島区へ招待し、合唱を通じた国際交流を行います。	
豊島区伝統工芸保存会発足25周年記念事業	新規	1,278	豊島区伝統工芸保存会の結成25周年を記念して、法被を一新するほか、豊島区庁舎1階のとしまセンタースクエアにて、特別展示を含む伝統工芸展を開催する等、伝統工芸の魅力を広く発信します。	生活産業課
ふくろう・みみずく資料展示活用事業	拡充	4,500	ふくろう・みみずくコレクションの一部を椎名町駅前の民間ビル内へ貸し出し、一般公開します。	庶務課
		98,464		

【参考】既存継続事業

（仮称）マンガの聖地としまミュージアム整備事業	継続	256,703	トキワ荘の再現施設を「（仮称）マンガの聖地としまミュージアム」として32年春にオープンします。30年度の秋から再現施設と附属施設の工事に着手し、展示物の制作を開始します。	文化観光課

その他関連事業…観光イベント支援事業(拡充・4,000千円・文化観光課)／『ぶらり雑司が谷　文学散歩』の増刷(拡充・921千円・図書館課)／としま暮らしの便利帳発行経費(拡充・11,145千円・広報課)／雑司ヶ谷鬼子母神堂防災施設更新事業の補助(拡充・3,942千円・庶務課)

12事業
3億2,148万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
東アジア文化都市推進事業	拡充	131,000	豊島区は、2019年開催の東アジア文化都市の国内候補都市に決定しました。東アジア文化都市とは、日中韓3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、様々な文化芸術イベントを通じて交流する文化事業です。今後、ロゴの作成、基本計画や事業計画の策定、プレイベントなどを経て、2019年2月には、中国・韓国の芸能団を招き開幕式典を行います。	東アジア文化都市推進担当課長
豊島区アフター・ザ・シアター（観劇後の余韻を楽しむ場）の検討事業	新規	500	文化・芸術の観劇・鑑賞後も、安全・安心にその余韻を楽しむことのできる場の創出を目指します。昨今注目を集めるナイトタイムエコノミーの有識者や、「都市プロデューサー」、「都市懇話会委員」、「特命大使」をはじめとする国際アート・カルチャー都市構想の関係者をお招きし、「サードプレイス」の実現に向け具体的な検討を行います。	国際アート・カルチャー都市推進担当課長
国際発信力強化に伴う多言語対応	新規	5,000	2020年に向け、海外からの来街者をさらに豊島区へ呼び込むため、国際アート・カルチャー都市専用ホームページにフランス語を追加します。	
（仮称）豊島区新ホール整備事業	拡充	129,200	Hareza池袋の一翼を担う新ホールを、民間事業者が建設する民間ビル内に建設し、区の文化創造の拠点及び池袋駅東口地区のにぎわい拠点を創出します。平成30年度は舞台備品等の購入経費のほか、完成後の円滑な運営を図るため、運営管理に関する経費を計上します。	新ホール整備担当課長
	継続	724,044		
ラ・フォル・ジュルネTOKYO開催支援	新規	8,640	2018年5月に池袋エリアにて、世界最大級の音楽祭「ラ・フォル・ジュルネTOKYO」が初開催されます。バナーフラッグで池袋エリアを彩り、南池袋公園と池袋西口公園ではクラシックコンサートを開催して多くの来場者を迎えます。	
新区民センター開設準備事業	新規	9,450	31年秋のオープンに向けた準備業務を進めます。運営マニュアルや危機管理マニュアルの策定、事業者との連絡・調整、館内の案内板の検討などの業務に要する経費を計上します。	生活産業課
としまスタートアップオフィス事業	拡充	3,452	29年度に設置した区内起業家のためのシェアデスク「としまスタートアップオフィス」の利用者と、地域活動交流センターの利用者、イケビズ入居団体、ビジネスサポートセンター相談員らが集う交流会を開催し、起業家同士のネットワークづくりやスタートアップを支援します。	
国際競争力強化推進事業	拡充	11,500	※再掲（15ページ参照）	企画課
多文化共生推進事業	拡充	5,668	豊島区では、外国人住民の割合が1割を超え、多国籍化も進んでいることから、地域における日本人と外国人住民の相互理解を深め、多様性を尊重しあえるまちの実現に向け、「多文化共生推進基本方針」を策定します。また、行政や地域の情報をわかりやすく発信する動画を6言語の字幕付きで制作し、区のホームページ等にて公開します。	多文化共生推進担当課長
豊島区観光振興プラン推進事業	拡充	2,500	東アジア文化都市及び東京オリンピック・パラリンピック開催期間の前後は、訪日客の大幅な増加が見込まれるため、この期間に焦点を当て、観光振興プランを改訂します。	文化観光課
観光振興事業	拡充	3,500	観光協会のホームページを多言語化し、観光案内パンフレット「ぐるっと豊島」「としま観光マップ」の改定・増刷を行います。	
インバウンド推進事業	拡充	11,066	区内の「TOSHIMA Free Wi-Fi」の屋外接続ポイントを5か所増設します。また、区の魅力を外国人目線で紹介したインバウンド向け観光マップを約5万部発行します。	文化観光課 情報管理課

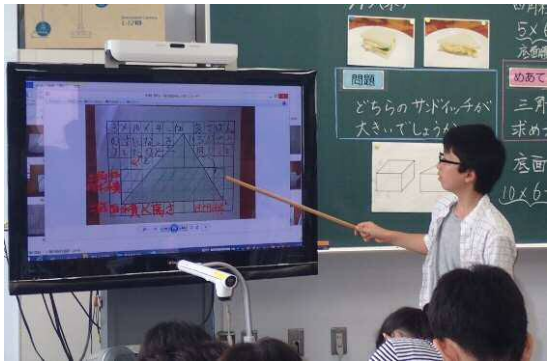
8 事業
9億8, 257万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
池袋副都心移動システム推進事業	新規	284,000	4つの公園（中池袋公園、南池袋公園、池袋西口公園、造幣局跡地の新公園）を中心に、池袋駅周辺を回遊する電気バスを導入します。電気バスの内装・外装のほか、停留所、案内板、制服などを工業デザイナーの水戸岡鋭治氏が総合プロデュースし、池袋の価値を高める新たな移動システムが誕生します。	交通・基盤担当課長
池袋副都心交通戦略推進事業	新規	15,580	池袋駅周辺地域では、自動車に過度に依存しない人と環境にやさしい都市を目指し、平成23年度に池袋副都心交通戦略を策定し、歩行者優先化等の施策の実現に向けた調査等を進めています。30年度は、29年度に実施した実証実験等の調査を踏まえ、32年度のHareza池袋のオープンに合わせた「南北区道」の歩行者優先化に向け、関係機関との協議や検討を深めます。	
池袋副都心再生推進事業	拡充	10,000	池袋駅東西の駅前広場や東西デッキといった都市基盤について、国や都、再開発事業者、関係団体と連携して検討を進め、「基盤整備方針」を策定します。また、池袋駅西口周辺についても、今後大規模な再開発が予定されていることから、都市景観に関する方針を取りまとめていきます。	
池袋駅周辺地域街区再編まちづくり推進事業	新規	5,000	池袋駅周辺エリアにおいて、地域住民との合意形成を経て決定したまちづくりの方針に基づき、街並み再生地区や地区計画を定め、再開発を誘導していきます。	再開発担当課長
公園トイレ等改修事業	新規	351,100	※再掲（15ページ参照）	公園緑地課
池袋西口公園整備事業	新規	308,320	池袋西口公園は、池袋西口駅前、また東京芸術劇場に隣接する立地を生かし、音楽・演劇などの文化芸術を発信する劇場公園に生まれ変わります。野外劇場の整備に先立ち、30年11月より、既存のステージや公衆トイレ等の撤去工事を行い、31年1月より本体工事を実施します。	
池袋西口公園野外劇場整備事業	新規	8,030	31年秋にオープン予定の池袋西口公園野外劇場について、運営管理に関する経費を計上します。	新ホール整備担当課長
観光案内標識整備推進事業	拡充	540	2020年に向け、急増が見込まれる訪日観光客を含め、すべての人々が安心して街を歩けるように、既にある観光案内標識の清掃等を行います。	文化観光課

ＡＩ時代を生きる教育の推進

タブレットPCを授業に有効活用



豊島区では、ICTを活用した学習活動を充実させるため、タブレットPC1,500台を新規に追加し、合計3,500台（３人に１台）体制を整えます。アクティブ・ラーニングや、プログラミング教育など、ＡＩ時代を生きる児童・生徒の教育を支援してまいります。

また、新学習指導要領を先取りした学校教育を推進し、児童・生徒の情報活用能力向上と、新しい時代の教育環境を整備してまいります。

学校学習用パソコンの整備 【拡充】 3,000万円

話せる、使える英語を目指します

豊島区型切れ目のない英語教育、幼(英語あそび)
小1～4(英語活動)　5～6(英語教育)　中(英語で授業)

ALT（外国語指導助手）の時間数を増やし、ネイティブの英語に触れる機会を充実させ、聞く・話す・読む・書くの英語教育４観点を切れ目なく、徹底させます。外国人とも積極的に話せる、使える英語教育を目指します。

豊島区では、平成17年度より、いち早く小学校第１学年から全学級にALTを配置してきました。また、立教大学との連携により英語を通してコミュニケーションを図る「English Camp」を年３回実施するなど、児童生徒が英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を育成できる環境を整えてきました。

豊島区型切れ目のない英語教育は、国や東京都の方針を貫きつつも、新学習指導要領の基準を超える拡充施策です。

次期学習指導要領の実施に向けた英語教育充実事業 【拡充】 1,385万円

次世代教育プログラムの展開

１２事業
9,755万円

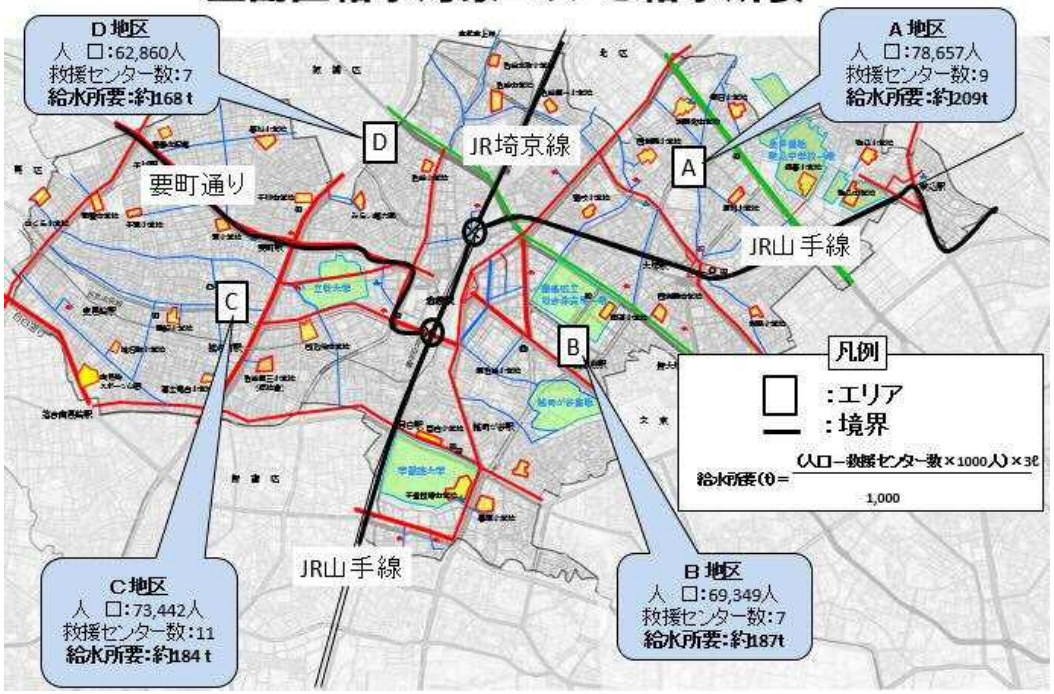
（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
学校学習用パソコンの整備	拡充	30,000	「新学習指導要領」に情報活用能力の重要性が示され、児童・生徒の学習活動に積極的にＩＣＴを活用していくために、タブレットＰＣの増設を行います。	庶務課
豊島区教育ビジョン2015 -豊島区教育振興基本計画- の改定関係事業	拡充	2,884	新たな教育ビジョンの策定（平成32年度）に向け、保護者及び教員や地域のニーズを把握するため、区民の意識・意向調査を実施します。	
学校施設の長寿命化改修計画策定事業	新規	24,851	平成32年度までに長寿命化改修計画を策定するため、未改築の小中学校の躯体老朽度を調査するとともに、学校に求められる新たな機能を外部の専門家が入った検討組織で研究・整理します。	学校施設課
がん教育推進事業	新規	1,025	新たに学習指導要領に盛り込まれた「がん教育」を一層推進するため、医療専門家による講演会を小中学校で開催し、児童・生徒の「健やかな心と体の育成」をめざします。	指導課
インターナショナルセーフスクール推進事業	拡充	1,430	安全な教育環境づくりに取り組む学校に認められる国際認証「インターナショナルセーフスクール」に向け、清和小学校と高南小学校の2校が新たにチャレンジします。	
コミュニティ・スクール導入等促進事業	新規	900	地域の声を積極的に生かし、地域と一体となった特色ある学校づくりを進めていくため、保護者や地域の代表が学校の運営を話し合う協議体コミュニティ・スクールの導入を目指します。	
スクール・サポート・スタッフ配置事業	新規	5,799	教員の負担を減らし、授業の充実を図るため、スクール・サポート・スタッフとして、教員の補助業務（学習プリントの印刷・配布、授業準備、採点業務など）を行う非常勤職員を雇用します。	
次期学習指導要領の実施に向けた英語教育充実事業	拡充	13,845	次期学習指導要領で小学校5・6年生の英語が教科化され、外国語活動の開始が小学校3年生に早められるため、外国人英語指導助手の配置時間を小学校3年生から6年生まで年間15時間増加し、英語教育をさらに充実します。	
子どもたちの教育環境をより素敵にする事業	拡充	3,500	小学校の楽器を購入し、多様な楽器に触れることで感性を高め、表現する力を育成し、生涯にわたって音楽に親しめる環境を整えます。	学務課
区立中学校特別支援教室設置条件整備事業	新規	7,300	平成31年度に区立中学校（8校）で特別な支援が必要な生徒向けの特別支援教室を設置するため、平成30年度に必要な教材の購入や施設の整備など準備を行います。	学校施設課 指導課
特別支援教育充実に向けた教育支援員の配置	拡充	1,613	増加する発達障害を含む特別な支援を必要とする児童・生徒の支援を充実するため、学習支援・介助および安全管理等を行う教育支援員を増員します。	教育センター所長

その他関連事業…道徳の教科化に伴う指導書購入（拡充・4,405千円・学務課）

首都直下地震発生時の断水被害想定23.9%への対応

豊島区給水対象エリアと給水所要



首都直下地震発生時の被害想定では、上水道の区内断水率が23.9%となっており、およそ区内の4分の1の地域で、断水が発生することになります。給水対象者数は、7万人余りと想定される中で、厳しい対応を迫られることが予想されております。

その解決のために、区では、詳細な給水シミュレーションに基づき、製造メーカーと検討を重ね、給配水の所要時間等、区からの改良要望を実現する形で、軽量かつコンパクトな折りたたみ式で、効率よく給配水を行えるコンテナを、新たに開発いたしました。

来年度、この簡易給水タンクを全国の自治体に先駆けて40基購入し、首都直下地震発生時に、断水が発生した場合でも、地域の自宅避難者に対し、飲料水を配ることができる給水体制を整えることといたします。

救援センター等備蓄関係事業
（給配水コンテナセットの購入）【拡充】 800万円

給配水コンテナ

地域防災計画推進事業【新規】 100万円
災害廃棄物処理計画の策定事業【新規】 324万円　他

地震で倒壊した家屋

熊本地震では様々な種類の応援が行われた一方、その受入れ体制が十分に整備されていなかったなど多くの混乱が見られました。このことから応援・受援に関する基本的な考え方を整理し、災害時における円滑な受援体制を確立していきます。

さらに、災害時に発生するがれきを含めた廃棄物の処理体制についても、速やかに復旧・復興に対応できる体制作りを進めていきます。

14事業
2億7,446万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
救援センター等備蓄関係事業（給配水コンテナセットの購入）	拡充	8,000	災害時、断水地域となった在宅避難者の飲料水を確保するため、軽量でコンパクトな折りたたみ式１ｔ水槽を40セット購入します。	防災危機管理課
災害医療救護態勢整備関係事業（緊急医療救護所の増設・医薬品の入替）	拡充	10,546	発災直後には、区内の病院等の近隣に「緊急医療救護所」を開設します。緊急医療救護所で、負傷の程度で患者を振分け（トリアージ）、重症者は災害拠点病院へ、中等症患者は災害拠点連携病院等に搬送し、軽症者を緊急医療救護所で救護します。平成30年度に緊急医療救護所を2か所増設（9か所⇒11か所）します。今後区内すべての救急病院（14か所）の近隣に緊急医療救護所を整備予定です。	
防災行政無線設備整備関係事業（移動系無線の通信環境の分析及び検証）	新規	2,950	区民や来訪者への情報伝達機能の向上を目指し、同報系防災行政無線のデジタル化を進めています（33年度完了予定）。これに併せて移動系防災行政無線の通信環境の分析を行い、通信状況の改善にも取り組みます。	
防災協定に係る調達物資管理運営事業	新規	3,488	区内の石油燃料事業者と防災協定を締結し、災害時に入手困難が想定される燃料を事前調達します。複数の石油燃料事業者から、あらかじめガソリン等の燃料を購入し、常に、一定量を保管・管理してもらいます。これにより、発災後でも、燃料供給が滞ることなく緊急車両を含む災害対応を行う車両の運行を確保します。	
地域防災計画推進事業	新規	1,000	大規模災害時における区の業務継続及び他自治体等からの応援を円滑に受け入れるため、「豊島区業務継続計画」の見直しと「豊島区災害時受援計画」の策定を一体的に進めるとともに、迅速な震災復興を実現するための体制を強化し、地域防災計画の実効性を高めます。	危機管理担当課長
災害廃棄物処理計画の策定事業	新規	3,236	災害により発生した廃棄物を迅速かつ円滑に処理し、速やかな復旧・復興のための計画を策定します。大規模地震や自然災害による廃棄物の処理体制を整えることで、災害後の一日も早い区民の生活環境・衛生環境の保全を確保します。	ごみ減量推進課
災害時における情報連絡手段の強化	新規	592	大規模災害時に、23区と東京二十三区清掃一部事務組合との情報連絡手段として「MCA無線」（デジタル業務用移動通信）を活用し、がれき、生活ごみ処理等に迅速に対応できる体制を作ります。	
居住環境総合整備事業（長崎地区）	拡充	11,000	長崎一丁目～五丁目地区の都市計画道路補助第172号線及び巣鴨・駒込地区の都市計画道路補助第81号線の整備に併せ、住民による街づくり活動や街づくり計画への支援を行い、重点的・集中的に木密地域の改善に取り組みます。	沿道まちづくり担当課長
居住環境総合整備事業（補助８１号線沿道巣鴨・駒込地区）	新規	3,070		
居居住環境総合整備事業　地区整備（補助８１号線沿道巣鴨・駒込地区）	新規	211,000	都市計画道路補助第81号線沿道の巣鴨・駒込地区において、主要生活道路の拡幅、公園や広場の整備を進め、併せて老朽住宅の建て替えを促進することにより地域の防災性、住環境の改善を図ります。	
建築防災関係事業（建物等適正管理審議会運営経費）	拡充	210	防災面あるいは環境面から放置することができない空き家について、学識経験者等を委員とする審議会に諮問し、代執行等も含めた適切な対応に取り組みます。	建築審査担当課長

その他関連事業…救援センター等備蓄関係事業（遺体収納袋の購入）（拡充・2,242千円・防災危機管理課長）／総合防災システム関係事業（システム改修）（拡充・8,957千円・防災危機管理課長）／全国瞬時警報システム（J－ALERT）機器の更新（新規・8,170千円・防災危機管理課長）

セーフコミュニティ再認証を取得

TOSHIMA CITY
A SAFE COMMUNITY
a WHO initiative
セーフコミュニティ
国際認証都市・豊島区

セーフコミュニティとは、「けがや事故等は、決して偶然の結果ではなく、原因を究明することで予防できる」という考え方のもと、地域のコミュニティや絆を広げながら、生活の安全と健康の質を高めていくまちづくり活動です。

豊島区は、平成24年に、東京で初、日本全国で5番目にセーフコミュニティの認証を取得しました。以来、区民ひろばでの活動や、区立小学校のインターナショナルセーフスクール認証、AED設置推進事業に関する協定に基づくファミリーマートでのAED設置など、官民の垣根を超え、安全・安心なまちづくりを進めています。

29年11月には、セーフコミュニティ認証センターより審査員をお招きして、現地審査を行い、30年2月に再認証の式典を開催しました。

AED イメージ

現地審査の様子
(池袋駅西口周辺での環境浄化パトロール)

駅のバリアフリー化を進めます

ホームドアが整備された西武池袋線

豊島区は、一日の乗降客数が約260万人を超えるターミナル・池袋駅を抱えることから、駅のホームドア設置やバリアフリー化を積極的に進めています。
29年には、池袋駅の西武鉄道ホームドア設置工事が完了しました。30年は、東武東上線のホームドア工事を実施し、誰もが安全・安心に利用できる環境づくりを進めます。

鉄道駅等バリアフリー推進事業【継続】

防犯カメラ設置へ助成

地域見守り活動を行っている地域団体が新たに防犯カメラの設置を行う場合、総工事費の12分の11を、都と区が補助します。
加えて、電柱共架料を区が全額補助し、地域団体による防犯設備の設置を支援して、安全・安心なまちづくりを推進します。

地域見守り対策活動支援事業【拡充】 1,071万円

ストップ！振り込め詐欺被害

自動通話録音機
イメージ

豊島区内では、平成29年中に振り込め詐欺による事件が60件発生し、総額1億4千万円以上もの被害が出ています。
こうした被害を未然に防ぎ、区民の財産を守るため、区内在住の65歳以上の方を対象に自動通話録音機を無料で貸出します。

地域安全対策経費(自動通話録音機の設置推進)【拡充】 219万円

（2）セーフコミュニティの推進

7事業
9,846万円

（拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載）

事業名	新規・拡充	予算額（千円）	事業概要	担当課
インターナショナルセーフスクール推進事業	拡充	1,430	※再掲（27ページ参照）	指導課
地域区民ひろば非常通報装置設置事業	新規	2,033	区民ひろばは、地域コミュニティ活動やセーフコミュニティ活動の拠点として、区内26箇所に設置されています。広く区民に開かれている施設であり、不審者が侵入するリスクがあることから、自主運営を行っている施設を対象として、警察に自動通報できる非常通報装置を設置します。	地域区民ひろば課
青色回転灯付パトロールカーの運用	拡充	2,060	現在、区内の見回りを行っている青色回転灯付パトロール車（全3台）の老朽化が進んでいることから、警備会社による車両持込み式の契約形態に変更します。	治安対策担当課長
地域安全対策事業（自動通話録音機の設置推進）	拡充	2,193	高齢者の振り込め詐欺被害を防止するため、区内警察や介護事業者、民生委員等より紹介のあった65歳以上の区民を対象に、自動通話録音機を配布します。	
地域見守り対策活動支援事業	拡充	10,713	地域見守り活動を行っている地域団体が新たに防犯カメラの設置を行う場合、総工事費の12分の11を、都と区が補助します。また、電柱等に防犯カメラを設置することにより発生する共架料を負担します。	
池袋駅地区バリアフリー推進事業	拡充	6,500	平成26年度に策定した「池袋駅地区バリアフリー基本構想（エリア拡大編）」を、その後の地区の変化に対応した内容に改定するため、現地調査の実施や、事業者、障害者団体等とのヒアリング・意見交換の結果を集約し、協議会で改定案の検討を行います。	都市計画課
鉄道駅エレベーター等設置事業費助成事業	拡充	73,534	高齢者や障害者等にとって安全・安心に移動できる街を目指し、東武東上線下板橋駅のバリアフリー化整備費用を補助します。30年度中に、エレベーター、スロープ、多目的トイレの設計・工事を行います。	福祉総務課

【参考】既存関連事業（継続）

鉄道駅エレベーター等設置事業費助成事業	継続	2,500	29年度に引き続き、JR駒込駅東口の利用客の利便性の向上を図るため、駒込駅1・2番線山手線ホームから東口改札通路に通じるエレベーター設置工事を行います。	福祉総務課
鉄道駅等バリアフリー推進事業	継続	124,000	鉄道利用時における主に視覚障害者の安全性の向上のため、池袋駅の駅ホームドア整備の助成を行い、バリアフリー化を推進します。30年度は、東武東上線の2番・3番線にホームドアを設置します。	都市計画課
目白古道（仮称）整備事業	継続	305,000	目白地域の生活道路である山手通りから明治通りへの区道「（仮称）目白古道」のコミュニティ道路化を目指します。30年度は、JR目白駅西側区道に隣接するエレベーターの整備工事を行います。	道路整備課
無電柱化事業	継続	330,023	「防災力の向上」「景観の向上」「安全・快適な歩行空間の創出」の実現に向け、既存区道の無電柱化を実施していきます。30年度は、巣鴨地蔵通りの詳細設計や学習院椿の坂の本体工事を行います。	

４．その他の特色ある事業

ウォークラリーで健康増進＆区内名所巡り

平成28年開催時の様子

豊島区では、区内の名所を巡りながら、楽しく体を動かす「健康ウォークラリー」を平成28年度より開催しています。3回目の開催となる30年度は、新たなコースを設定して開催します。

健康ウォークラリー実施事業【拡充】
258万円　担当　地域保健課

池袋保健所が仮移転します

造幣局東京支局敷地(東池袋4-42)

現池袋保健所は各種設備の老朽化が進んでおり、庁舎跡地開発による周辺環境の変化も予想されることから、本格的な移転に先立ち、31年度に仮移転します。30年度はこれに向けた調査を行います。仮移転後は、造幣局跡地の防災公園に隣接するUR敷地内の仮庁舎にて業務を行います。

池袋保健所仮移転関係事業【新規】 1,800万円
担当　地域保健課

巣鴨地蔵通り商店街を無電柱化へ

今後起こりうる災害に備え、防災機能を高めていく必要があるため、豊島区では27年度から「無電柱化の推進」に取り組んでいます。30年度は巣鴨地蔵通りの詳細設計と学習院椿の坂の本体工事を行います。

今後も区内全域で無電柱化をすすめ、防災力の向上を図るとともに、区民と来街者が安全・安心に通行できる道路を目指します。

無電柱化事業【継続】
担当　道路整備課

旧第十中学校跡地をスポーツ施設に

イメージ(※写真は南長崎スポーツ公園)

閉校となった旧第十中学校を、サッカーやラグビー、テニス、少年野球など多目的に使用できる野外スポーツ施設として整備します。また、現在旧第十中学校校舎内に保管している文化財等を移転させる必要があるため、飯能市内の区有地に保管施設を整備する計画を具体化していきます。

旧第十中学校跡地活用事業【継続】
担当　施設計画担当課長
**　　学習・スポーツ課**

法による適正施行で「民泊」を展開 「豊島区ルール」で安全・安心を徹底

本区の民泊に関する苦情は6割が商業地。住宅地と商業地がそれぞれ区の面積の5割近くを分け合い、ほとんどのエリアが商業地のすぐ近くに住宅地が接しています。このような状況から、国のガイドラインなどを踏まえると、制限区域を広く指定することは困難な状況です。

「豊島区ルール」では、法に基づく事業運営の適正化を図るため、事業者の事前準備や近隣への事前周知、トラブル時の駆けつけ義務を課す等によって、安全・安心な民泊事業を展開します。また、消防署・警察署と連携を強化するとともに、無届の違法民泊等の取締りを強化します。

住宅民泊事業法施行に伴う対応【新規】 128万円
担当　生活衛生課

空家活用促進の支援メニューを充実

30年4月施行の「豊島区空家活用条例」は、所有者のニーズに合った空家活用を支援します。

①相続問題などを解決するため専門知識をもった専門家を派遣します。
②空家の活用方法などを提案する事業者を紹介します。
③家族的な住まい方の認定を受けることでシェアハウスへ転用しやすくします。

空き家をカフェ＆旅館として再生した「シーナと一平」

空家活用事業【新規】 500万円
担当　住宅課

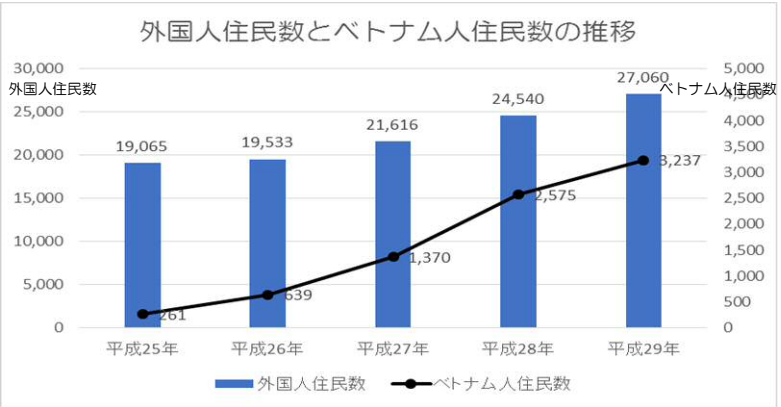
増える外国人住民に対応

窓口手続きや相談の際に対応できる外国語を増やすため、タブレット端末によるテレビ電話を活用した多言語通訳サービスを試行的に実施します。3階の総合窓口課、国民健康保険課、4階の子育て支援課に設置し、12か国語に対応できるようにします。

テレビ電話による多言語通訳サービス委託事業 【新規】 280万円
担当　企画課（多文化共生推進担当課長）
区民相談課

ベトナム人住民は5年で12倍に

ベトナム人住民の方は近年区内で急増していますが、言語コミュニケーション手段が確保されていない状況から、日本における国民健康保険制度の理解の促進、また納付の案内や勧奨について課題を抱えています。そのため、ベトナム語に対応できる相談員を配置し、電話による納付勧奨や窓口納付相談の通訳などの取り組みにより、制度への理解を促進し、保険料の納付案内、勧奨を進めていきます。



ベトナム語対応相談員による納付案内事業【新規】294万円
担当　国民健康保険課

＜参考＞公益財団法人としま未来文化財団

平成30年度 重点事業

まちが舞台！ 誰もが主役！の多彩な事業を展開

～国際アート・カルチャー都市づくりの推進～

大田楽　いけぶくろ絵巻

１０月２０日（土）１８時３０分～（予定）　南池袋公園ほか

『古の躍りと都市が融合。
東アジアの芸能も加え、さらに華やかに開催！』

撮影：赤坂久美

豊島区在住の能楽師狂言方和泉流の野村万蔵氏プロデュースによる、豊島区オリジナルアレンジの大田楽。「大田楽」とは、中世の日本で大流行した芸能“田楽”をベースに、様々な芸能も採り入れた一大パフォーマンスです。

昨年に引き続き躍り手として区民も参加するほか、東アジアの芸能も加え、さらに華やかに開催します。グリーン大通りや南池袋公園一帯を舞台に「まちが舞台、人が主役」の実現に向けて区の魅力を国内外へ発信します。
［観覧無料］

【本事業に関するお問い合わせ】
みらい文化課　（03-3590-7118）

第30回　民俗芸能inとしま

１０月２８日（日）　あうるすぽっと

『未来に受け継ぐ　わたしたちの芸能
民俗芸能って楽しいぞ！』

撮影：青木司

豊島区に残る民俗芸能の維持・伝承を目的に平成元年より開催している「民俗芸能inとしま」が第30回目を迎えます。
地元・豊島区の無形民俗文化財「長崎獅子舞」、「冨士元囃子」、「雑司ヶ谷鬼子母神御会式万灯練供養」及び、姉妹都市・秩父市の「秩父屋台囃子」ほか他地域の特色ある地域伝統芸能を招聘し上演します。
また、30回を記念し「民俗芸能を知る・体感する」をテーマに、秩父へ出掛け現地の風土の中で秩父屋台囃子の太鼓を習う「としま太鼓道場」や、芸能のお囃子を奏でる楽器のワークショップ等、多世代に向けた関連企画を実施します。
インバウンド対応の情報発信を進め、各地域で大切に守り受け継がれてきた伝統芸能を広く発信し、国内外の次世代へ繋ぐプログラムです。
［観覧無料・入場整理券配布］

来て、見て、遊ぼう！あうるすぽっとで夏休み

あうるすぽっと
（豊島区立舞台芸術交流センター）

1年を通じて多彩な事業を展開していますが、平成30年度はダンス、フィジカル・パフォーマンスを充実させたラインナップでお届けします。観るだけでなく、参加したり体験したりのワークショップも合わせて開催。7月・8月は特に集中させて、夏休みを盛り上げます。

近藤良平・コンドルズ**『にゅ～盆踊り』**
7月14日（土）・15日（日）（会場：池袋西口公園）
池袋・夏の風物詩、踊って笑って楽しめる大盆踊り大会。
暑さも吹き飛ばす、最高に盛り上がる2日間です。

撮影：涌井直志

シアターサーカス**『マシーン・ド・シルク』**
7月21日（土）～24日（火）
世界中を魅了してやまないサーカスパフォーマンスがカナダから初来日。5人の男たちが繰り広げる息を呑むアクロバットやジャグリング、笑いも満載のステージです。

小林顕作の読み聞かせ**『絵本のじかんだよ！』**
7月31日（火）
NHK「みいつけた！」のオフロスキーでおなじみの小林顕作が登場。絵本を大きく映しながら、子ども達が大好きな、大人にはどこか懐かしい、たくさんの絵本を立体的に読み聞かせます。

撮影：石川 純

「あうるすぽっと　あそびばシリーズ」
7月12日（木）～8月12日（日）（予定）
あうるすぽっと２階ホワイエに“あそびば”が出現。
作って飾って、見て触って、こども心で遊ぶ
とっておきの場所をお届けします。

昨年の展示より

【本事業に関するお問い合わせ】
舞台芸術交流センター
（03-5391-0751）

エリアガイドボランティア養成事業

エリアガイドボランティア養成事業計画の最終段階
エリアガイドボランティア養成事業
としまガイドフォローアップ事業／地域文化創造館５館合同
～豊島区・地域文化創造館に求められる地域人材の育成と活用～

豊島区内では、雑司が谷地域の「としま案内人雑司ケ谷」と駒込地域の「としま案内人駒込・巣鴨」の皆さんが、すでにガイド活動をしています。
地域文化創造館では、その他のエリアでもボランティア活動の団体を育成するために、平成27年度から29年度にかけて全館で「としまガイド養成講座」を実施しました。現在、南大塚地域文化創造館と千早地域文化創造館では、ガイドをしたい皆さんが集まり、活動の準備を始めています。
平成30年度は、5年間にわたるエリアガイドボランティア養成事業の最終段階として、それぞれのガイド団体が活躍できるように、また、各団体が連携しながら豊島区のガイド活動を充実していくために、「としまガイドフォローアップ事業」を実施します。そして、豊島区生涯学習推進計画にある「まなびの循環（わ）」を実現していきます。

【事業内容】
１）人材の育成、活躍の場の機会提供
～講座実施、フォローアップ研修などの企画
２）団体の自主的な活動の支援
～区内での活動拠点の一部支援
３）豊島区の観光施策との橋渡し

【本事業に関するお問い合わせ】
地域コミュニティ創造課
（03-3946-4301）

豊島、新時代へ！
2018

迫力ある姿を見せ始めた新ホール棟 （1月下旬）

平成30年2月/豊島区政策経営部広報課　〒171-8422　豊島区南池袋2-45-1
TEL（03）3981－1111（代表）